

教育実践研究におけるデータとは何か —データの収集と考察の現在—

教育方法学にとって、授業実践や教育実践という総合的営みのどこに焦点を合わせて、いかなるデータをとるかは研究の成否を分ける基本問題です。臨床的な研究にとって、研究課題の設定とそれにふさわしい実践データの収集と分析は、基礎的作業です。地道な作業ですが、この分野にも理論研究からの影響であったり、データ収集の新たなアプローチが試みられたりするようになってきております。

そこで、意欲的に研究データの開発とアプローチの革新を試みている会員に報告をお願いし、それぞれのアプローチを交流・検討することを通じて、教育方法学研究の新たな前進や実践の従来の見方の革新につながることを期待してこの研究集会を企画いたしました。このことを通じてベテランにとっても若手にとっても研究データを取り扱う作法を振り返る契機にしたいと考えました。多くの会員の参加を期待いたします。

日時 2018年6月10日(日) 13:30~16:30 (受付:13:00~)

場所 大阪教育大学 天王寺キャンパス 西館1階第一講義室



※JR 天王寺駅、地下鉄 天王寺駅、
近鉄 大阪阿部野橋駅下車、 徒歩 10分。
JR 寺田町駅下車、 徒歩 5分。(新大阪駅から 20分ほど)

司会者 池野 範男 (日本体育大学)

西岡加名恵 (京都大学)

提案者 坂本 将暢 (名古屋大学)

工学的アプローチによる教育実践データの分析と意義

中坪 史典 (広島大学)

映像や写真を介して教師 (保育者) の多声的な語りを収集する：文化を反映する教育 (保育) 実践を描き出す試み

八田 幸恵 (大阪教育大学)

生徒のノート・作品・成果物を公刊し授業研究への多様な人々の参加を促す：教室における目標と評価の豊穡化のために

※本研究集会は公開で開催いたしますので、会員以外でも関心をお持ちの方に広くお声がけください。なお、本研究集会への参加は無料です。

お問い合わせ先：日本教育方法学会事務局

〒739-8524 広島県東広島市鏡山 1-1-1

広島大学大学院教育学研究科教育法学的研究室 気付

hohojimu@riise.hiroshima-u.ac.jp